

第32回
国民文化祭・なら2017

第17回
全国障害者芸術・文化祭なら大会

実施計画

CONTENTS

開催概要	1
基本理念・テーマ	2
プロモーションツール	3
事業計画	4~8
プロモーション計画	9
その他	10

平成28年8月

第32回国民文化祭奈良県実行委員会
第17回全国障害者芸術・文化祭実行委員会

はじめに

奈良県では、2017年秋に「第32回国民文化祭・なら2017」・「第17回全国障害者芸術・文化祭なら大会」を全国で初めて一体開催することとなりました。

2020年の東京オリンピック、パラリンピックを見据え、観光・文化・スポーツの振興を重要な取り組みとして力を入れている中、同大会の開催は、文化という奈良のブランド力を、全国に、世界に発信する大きな契機となります。

歴史と文化の豊かな蓄積を誇る日本文化のはじまりの地・奈良の価値をより明確にできる奈良らしい大会にいたします。

1 大会名

**「第32回国民文化祭・なら2017」
「第17回全国障害者芸術・文化祭なら大会」**

2 主催者

文化庁 厚生労働省 奈良県
第32回国民文化祭奈良県実行委員会
第17回全国障害者芸術・文化祭実行委員会
市町村 市町村国民文化祭実行委員会
文化芸術団体

3 開催期間

平成29年9月1日(金)～11月30日(木) [91日間]

4 開催場所

県内全39市町村で開催予定

5

基本理念・テーマ

○「大和は国のまほろば たたなづく青垣山ごもれる やまとしうるはし」(古事記)と称えられた奈良は、日本文化を代表する様々な文物の発祥の地でもあります。同時に、古来の文化と渡来の文化が交流・融合を果たし、日本文化独自のダイナミズムが生み出された場所です。

○現在、日本各地で祭りや踊りなど地域に根ざした伝統行事があり、日常の稽古事や趣味を含め盛んに文化活動が行われているのは、こうしたダイナミズムの下で文化が育まれ、受け継がれてきたからにほかなりません。

○「第32回国民文化祭・なら2017」・「第17回全国障害者芸術・文化祭なら大会」は、国家形成の地である古都奈良から日本文化の真髄を探り、その厚みと深みを再認識するとともに、今に繋がる多種多様な文化活動を堪能、展開することにより、継続性と包容力を特色とする日本文化を広く発信する機会とします。

○全国で初めて国民文化祭と障害者芸術・文化祭を一体開催することにより、文化芸術が障害のある方の活力の源になるとともに、障害のある方とない方の新たな関係性が生まれることも期待します。

○奈良県は、この一体開催を、文化を奈良県のブランドとして全国に、そして2020年東京オリンピック・パラリンピックに向け、世界に力強く発信していく契機とします。古都奈良が日本文化の原点であったように、国民文化祭で生まれる新たな交流を触媒として日本各地の文化力を盛り上げ、我が国が目指す文化芸術立国の礎となることを目指します。

日本文化の源流を探る ～ 日本文化の源流を国際的つながりも視野に掘り起こす

文化の今を楽しむ ～ 積み重なった今ある日本文化の厚み、深みを堪能する

文化芸術立国の礎を築く ～ 文化の交流で地域に元気をつくる

障害のある人とない人の絆を強く ～ 文化の力で新たな関係をつくる

6

シンボルマーク

国民文化祭の統一のシンボルマークとして、昭和61年の第1回東京都開催から採用



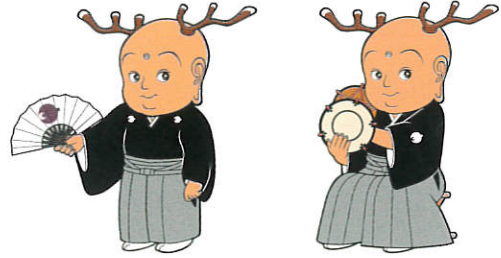
「文化は人間の知恵であり、秩序ある生活との結合であります。限りなく広がる文化へのあこがれを、歓喜の人形(かた)の構成でイメージしたデザインです。日本古来の古代紫を基調に、明るさを加えて、新しい日本の未来色のイメージにした色彩計画です。」

福田 繁雄(グラフィック・デザイナー)

7

マスコットキャラクター

小鼓や舞扇を持ったせんとかんが
奈良県の文化を紹介します。



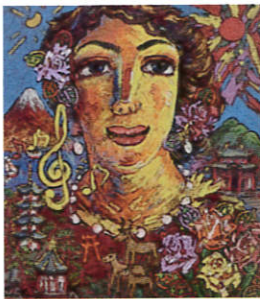
© NARA pref.

藪内 佐斗司(彫刻家)

8

公式ポスター

制作中
1年前よりプロモーション展開



原画「芸術の女神」



「大古事記展に出品した作品も、まさしく日本文化の源流をイメージしたものでした。奈良県が取り組んでいる記紀・万葉プロジェクトからイメージを膨らませました。」

絹谷 幸二(洋画家)

9

イメージソング

制作中
1年前よりプロモーション展開

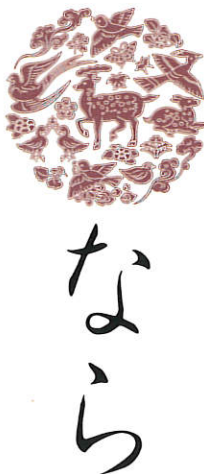


「日本文化の源流を探るという基本理念から自分なりに歌をイメージしてみたら、古事記、日本書紀から題材を取るべきだとの考えに至りました。」

新井 満(作家、作詞・作曲家)

10

ロゴマーク



ロゴマークを考えるにあたり、奈良にまつわる文化を紐解いてみました。そして、奈良が最も栄えていたと言える奈良時代に作られた書体、宝物、文化などを参考に作成しました。ロゴタイプは、奈良時代に確立した書体である「楷書」をベースにし、シンボルマークは、正倉院の宝物に描かれた動植物を円形に配置。円形は、奈良時代から国家的にも重宝されと言われる陰陽道の象徴、月と太陽の形です。また、円形に動植物を配置することで、天地自然の美しさを表す花鳥風月に囲まれた鹿、という構図にもなっています。シンボルマークの色には、奈良県の色であり、奈良時代に日本に伝わり正倉院の御物にも用いられた「蘇枋(すおう)」を選びました。国民文化祭、障害者芸術文化祭をはじめ、奈良県の文化を表現するマークとしてみなさんに親しんでいただけたら幸いです。

水野 学(クリエイティブディレクター)

11 事業構成

(1) 主催事業

- ① 総合フェスティバル
オープニング
フィナーレ
- ② シンポジウム事業
- ③ 国際交流事業
- ④ 障害者交流事業
- ⑤ 分野別フェスティバル

(2) 協賛・応援事業

12 事業別計画

(1) 総合フェスティバル

① オープニング

概要／世界遺産でもある奈良県の象徴的な建造物「東大寺大仏殿」で基本理念・テーマに沿った、大会の幕開けにふさわしい式典、祝祭イベント・パフォーマンスを展開。

開催日／平成29年9月2日(土)

会場／東大寺大仏殿前

- 内容／
1. 開会式典 開会宣言、お言葉・来賓祝辞
 2. 祝祭イベント 奈良発祥の芸能・文化を元にし、障害のある人ない人が一体となったパフォーマンスなど
 3. エピローグ ゲストと観客全員でイメージソングを合唱する演出 など



2015年鹿児島



②フィナーレ

○「(仮称)大和のまつり」

開催日／平成29年11月25日(土)

会 場／奈良県南部

内 容／奈良県南部地域に伝わる民俗芸能の披露や、全員参加型の大和総おどりを実施

○「セレモニー」(次開催地への引き継ぎ)

開催日／平成29年11月26日(日)

会 場／奈良県文化会館国際ホール

内 容／・すべての参加者が楽しめる雰囲気を出す

- ・東大寺の大仏造立と宇佐八幡との歴史的な縁(えにし)をテーマにした演出で、奈良県から次期開催県の大分県に国文祭の旗を引き継ぐ など



(2)シンポジウム事業

①「フォーラム・NARA」

概 要／大会の4テーマを各回のメインテーマと位置づけ、

4回シリーズでの文化フォーラムを開催予定

開催日・会場(予定)／第1回 平成29年9月下旬 奈良県文化会館国際ホール

第2回 // 10月上旬 万葉文化会館企画展示室

第3回 // 10月下旬 奈良春日野国際フォーラム一麓一

第4回 // 11月下旬 万葉ホール



②「日本アートマネジメント学会全国大会」

概要／芸術文化に関するマネジメントの研究を行い、芸術文化にかかわる地域活動の発展に資することを目的とする、「日本アートマネジメント学会」の全国大会を開催(一部を一般公開)

開催日／平成29年11月25日(土)・26日(日)

会場／奈良春日野国際フォーラム一麓一



③その他

「食文化シンポジウム」

「農村文化の魅力を未来へ伝えるシンポジウム」

「『障害者×アート』芸術の新しい可能性を探るシンポジウム」なども実施予定

(3) 国際交流事業

①「海外からのアーティストによる音楽イベント」

概要／奈良県と縁のある東アジア地域で活躍する著名アーティストを招聘し音楽イベントを開催

開催日／平成29年9月上旬(予定)

②「ワールドフェスティバル」

概要／各国の料理・音楽を通じて奈良の魅力を発信する国際交流イベントを開催

開催日／平成29年11月上旬(予定)

③その他

「東アジアやアジア太平洋に関連したシンポジウム」

「東アジア障害者アート展」なども実施予定



(4) 障害者交流事業

①「全国障害者作品展」

概要／全国から障害のある人の美術・文芸作品を募集して展示

開催日／平成29年11月下旬(予定)

会場／奈良県文化会館

②「ビッグ幡プロジェクト」

概要／県内外の障害のある人の絵画をあしらった

「幡(ばん)」の掲揚(毎年実施)

開催日／平成29年11月上中旬(予定)

会場／未定(平成28年度は東大寺)

③「さわって楽しむ体感展示」

概要／「触覚で鑑賞」することをテーマとした体感展示

開催日／平成29年9月～10月(予定)

会場／奈良県文化会館 ほか2箇所を巡回



④「障害のある人もない人もともに楽しむコンサート」

概要／障害のある人とない人がともに作り上げるコンサート

開催日／平成29年11月19日(日)(予定)

会場／奈良県橿原文化会館



⑤「バリアフリー映画祭」

概要／障害のある人もない人も楽しめる音声ガイドや字幕付き映画の上映

開催日／平成29年9月～10月(予定)

会場／未定

⑥その他

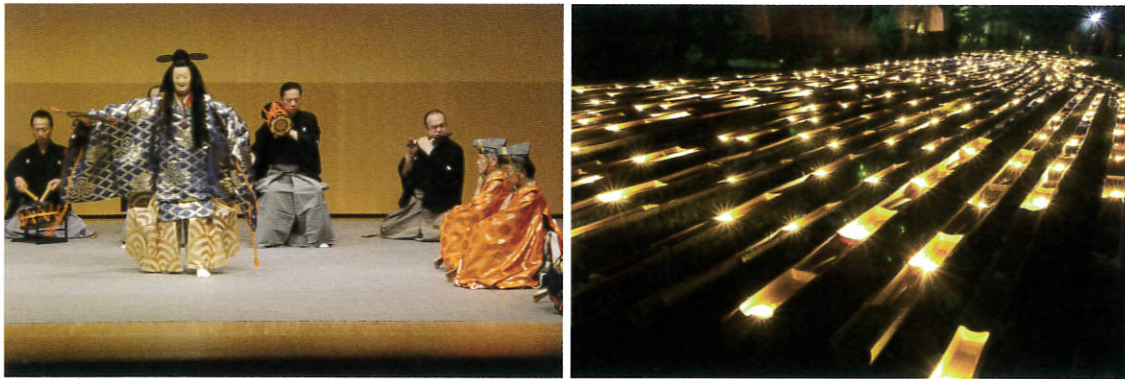
障害の有無にかかわらず参加型の演劇、車いすダンス、手話パフォーマンスなども実施予定

(5) 分野別フェスティバル

市町村連携事業(伝統文化・歴史文化・音楽・美術・演劇 等)

開催日/平成29年9月1日(金)~11月30日(木)の間の各開催日

会場/奈良県内全39市町村



(6) 協賛事業(文化庁承認事業)・応援事業(奈良県承認事業)

① 協賛事業(文化庁承認事業)

国民文化祭の趣旨に賛同し、その目的に沿った、全国の自治体・文化団体・企業等が行う事業について、文化庁が協賛事業として承認。

② 応援事業(奈良県承認事業)

- ・ 奈良県大芸術祭など、国文祭・障文祭なら2017の趣旨に賛同する団体等が実施する文化事業等を応援事業と位置づけて相互に広報協力。
- ・ 国文祭・障文祭なら2017開催前に実施する奈良県・県内市町村等が実施する文化事業を「プレイベント」として開催機運の醸成を図る。



13 プロモーション計画

(1) プロモーション戦略

平成28年度

- 各種メディアを効果的に組み合わせたプロモーション展開
- プレイベントを実施することによるプロモーション展開
- 大会ポスター、チラシ、マスコットキャラクター、イメージソング、ロゴマーク、プロモーション映像などを活用したプロモーション展開

平成29年度

- 前年度のプロモーション展開の継続、拡大
- 観光、物産、グルメ等周辺情報の発信

(2) プロモーション展開

500日前(2016年4月19日)

- ・公式FBの立ち上げ
- ・カウントダウンボードの設置
- ・キックオフイベント(プロモーション映像の公開 等)

その後、順次展開

- ・公式ノベルティーの制作
- ・県および市町村主催イベントと連携した事前PR
- ・せんとくん&事前PR隊の編成
- ・「ムジークフェストなら」イベントとの連携

1年前(2016年9月3日)

- ・イメージソングなどを活用したプロモーション展開
- ・「奈良県大芸術祭」イベントとの連携

その後、順次展開

- ・「第31回国民文化祭・あいち2016」フィナーレでの演出(2016年12月3日)
- ・「第16回全国障害者芸術・文化祭あいち大会」フィナーレでの演出(2016年12月11日)
- ・公式ポスターを使った2017年カレンダーの制作
- ・「奈良県障害者芸術祭HAPPY SPOT NARA」イベントとの連携

200日前(2017年2月13日)より順次展開

- ・首都圏プロモーションイベントの実施
- ・県および市町村主催イベントと連携した事前PR

100日前(2017年5月24日)より順次展開

- ・県内プロモーションイベントスタート
- ・「ムジークフェストなら」イベントとの連携 など

14 おもてなしプロジェクト

- ・ 県民サポーター(広報・案内ボランティア)の協力
- ・ あいサポーターによる障害種別に応じたサポート
- ・ 展覧会、イベントにおける手話や説明ガイドの充実
- ・ トラベルセンター(出演者・観客等への宿泊・観光のご案内)の設置 など

15 実行委員会開催スケジュール(一部予定)

平成27年8月6日 第32回国民文化祭奈良県実行委員会設立総会・第1回実行委員会

平成27年10月5日 第32回国民文化祭奈良県実行委員会第2回実行委員会
第17回全国障害者芸術・文化祭実行委員会設立総会・第1回実行委員会

平成28年3月24日 第32回国民文化祭奈良県実行委員会第3回実行委員会
第17回全国障害者芸術・文化祭実行委員会第2回実行委員会

平成28年8月2日 第32回国民文化祭奈良県実行委員会第4回実行委員会
第17回全国障害者芸術・文化祭実行委員会第3回実行委員会

平成29年3月 第32回国民文化祭奈良県実行委員会第5回実行委員会
第17回全国障害者芸術・文化祭実行委員会第4回実行委員会

平成29年7月 第32回国民文化祭奈良県実行委員会第6回実行委員会
第17回全国障害者芸術・文化祭実行委員会第5回実行委員会

平成30年3月 第32回国民文化祭奈良県実行委員会第7回実行委員会(解散)
第17回全国障害者芸術・文化祭実行委員会第6回実行委員会(解散)



なら